

木育活動にも森林税を活用しています！

大人から子供まで多くの県民の皆さんが参加しながら、木や森林について学習する「木育活動」を推進するため、森林税を活用して活動支援を行っています。

平成24年度も大勢の皆さんに、県産材の利用促進や健全な森林の育成について理解を深めていただきました。

1 県産材の資材の譲与による支援



上伊那地区みどりの少年団交流集会において、325人の児童が地域のアカマツを活用してフラワースタンドを製作しました。



伊那市ますみヶ丘平地林において市民60人を対象にしたイベントで、地域のヒノキを活用した木製すのこを製作しました。



伊那北小学校4・5年生が、野鳥や森林に関する学習をおこないながら、県産材を活用した野鳥巣箱・木製イスを製作しました。

2 活動に対する補助金交付や木育推進員の派遣による支援



伊那市は、ますみヶ丘平地林において木の笛ユカイナの製作から演奏まで体験してもらうイベントを実施しました(材料及び製作指導費)。



駒ヶ根市東伊那財産区は、地元中学生を対象にきのこ山整備の指導、小学4年生を対象にした原木きのこ植菌教室を開催しました。



信州大学農学部の学生と職員が南箕輪南部小学校6年生を対象に、学部内の廊下を協働で木質化する活動を行い、森林の役割から、製材、加工まで一連の流れを指導しました。



駒ヶ根市では、木工教室が開催され、大勢の市民が参加しました。